

令和3年度  
第1回静岡県企業局経営評価委員会  
(資料)

	頁
<b>【報告事項】</b>	
1 令和2年度 企業局3会計決算概要……………	1
2 工業用水道事業の取組状況……………	13
3 管路更新手法改革の取組状況……………	17
4 新たな契約方法の導入と効果……………	19
5 地域振興整備事業（工業用地造成事業）の状況……………	21
6 企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の進捗状況……………	別冊

**【協議事項】**

- 1 企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の見直し

(参考資料)

- ・企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の進捗評価
- ・企業局概要（令和3年度）
- ・創意工夫・コスト削減事例集

## 令和2年度 企業局3会計決算概要

### 1 工業用水道事業会計

#### (1) 決算の状況及び今後の見通し

- ・ 総収益は、大口受水企業の利用廃止に伴う給水収益の減少等により、前年度から146百万円減の4,153百万円となった。
- ・ 総費用は、維持管理費の増加、支払利息の減少等により、前年度と同額の4,119百万円となった。
- ・ この結果、損益は前年度から146百万円減の34百万円の黒字となった。
- ・ 令和3年度は、富士川工水と東駿河湾工水との一体運用に係る事業統合をすすめる等、収支改善に努めていく。

#### (2) 決算の概要

(単位:百万円)

		R2	R1	増減	備考
給水事業所数		339	342	△ 3	増1社、減4社
有収水量(万m <sup>3</sup> )		24,543	26,405	△ 1,862	
収 益 的 収 支	総収益 A	4,153	4,299	△ 146	
	給水収益	3,883	4,038	△ 155	大口受水企業の利用廃止による減等
	その他	270	258	12	有価証券利息の増等
	特別利益	-	3	皆減	
	総費用 B	4,119	4,119	0	
	事務費等	643	636	7	
	維持管理費	1,828	1,794	34	修繕料の増等
	減価償却費等	1,533	1,550	△ 17	償却対象資産の減
支払利息	115	139	△ 24	企業債(高利率借入)償還の終了による減	
特別損失	-	-	-		
損益 A-B		34	180	△ 146	
資 本 的 支	資本的収入	1,752	1,401	351	企業債、補助金等
	資本的支出	3,949	5,791	△ 1,842	
	建設改良費	2,185	1,403	782	
	投資	803	3,400	△ 2,597	
	その他	961	988	△ 27	
収支差引		△ 2,197	△ 4,390	2,193	
資 金	当年度	△ 786	△ 2,817	2,031	
	累積	2,604	3,390	△ 786	
	累積(投資含む)	7,795	7,786	9	

#### 【参考：事業別の決算状況】

(単位:百万円)

		柿田川	富士川	東駿河湾	静 清	中 遠	西 遠	湖 西	合計
給水事業所数		4	11	95	73	57	78	21	339
有収水量(万m <sup>3</sup> )		3,653	2,100	13,500	1,875	1,552	1,266	597	24,543
収 益 的 支	総収益 A	367	178	2,075	432	478	413	210	4,153
	総費用 B	284	263	2,148	391	442	385	206	4,119
	損益 C=A-B	83	△ 85	△ 73	41	36	28	4	34
	前年度損益 D	58	29	△ 124	72	71	68	6	180
	増減 E=C-D	25	△ 114	51	△ 31	△ 35	△ 40	△ 2	△ 146
	増減(特別損益除き)	25	△ 114	51	△ 28	△ 35	△ 40	△ 2	△ 143

## 2 水道事業会計

### (1) 決算の状況及び今後の見通し

- ・ 総収益は、給水収益は前年と同額、有価証券利息の増加等により、前年度から 36 百万円増の 6,528 百万円となった。
- ・ 総費用は、維持管理費の増加等により、前年度から 131 百万円増の 5,455 百万円となった。
- ・ この結果、損益は前年度から 95 百万円減の 1,073 百万円の黒字となった。
- ・ 経営は比較的安定しているものの、経営改善の取組を推進し、運営コストの削減に努めていく。

### (2) 決算の概要

(単位:百万円)

	R2	R1	増 減	備 考	
給水市町数	10	10	0		
有収水量(万m <sup>3</sup> )	7,709	7,589	120		
収 益 的 収 支	総収益 A	6,528	6,492	36	
	給水収益	5,878	5,878	0	
	その他	623	614	9	有価証券利息の増等
	特別利益	27	-	皆増	退職給付引当金の戻入
	総費用 B	5,455	5,324	131	
	事務費等	733	763	△ 30	
	維持管理費	1,934	1,813	121	修繕料の増等
	減価償却費等	2,538	2,474	64	償却対象資産の増
	支払利息	250	274	△ 24	企業債償還の進捗による減
	特別損失	-	-	-	
損益 A-B	1,073	1,168	△ 95		
資 本 的 支	資本的収入	1,243	239	1,004	企業債、補助金等
	資本的支出	4,876	6,633	△ 1,757	
	建設改良費	2,055	1,389	666	
	投資	1,813	4,244	△ 2,431	
	その他	1,008	1,000	8	
収支差引	△ 3,633	△ 6,394	2,761		
資 金	当年度	△ 515	△ 3,244	2,729	
	累 積	4,227	4,742	△ 515	
	累積(投資含む)	11,271	10,483	788	

### 【参考：事業別の決算状況】

(単位:百万円)

	駿 豆	榛 南	遠 州	合 計	
給水市町数	3	2	5	10	
有収水量(万m <sup>3</sup> )	1,058	550	6,101	7,709	
収 益 的 支	総収益 A	1,266	456	4,806	6,528
	総費用 B	845	403	4,207	5,455
	損益 C=A-B	421	53	599	1,073
	前年度損益 D	412	94	662	1,168
	増減 E=C-D	9	△ 41	△ 63	△ 95
	増減(特別損益除き)	2	△ 44	△ 80	△ 122

### 3 地域振興整備事業会計

#### (1) 決算の状況及び今後の見通し

- ・令和2年度は、工業団地4区画の分譲・引渡しを行い、総収益は1,111百万円、総費用は984百万円となり、損益は127百万円の黒字となった。
- ・「富士山麓フロンティアパーク 小山」は、令和3年2月に最終区画の分譲が決定した。計画から造成、分譲まで画期的な創意工夫により、平成30年10月の完成から約2年4ヶ月で全10区画(約23.9ha)の完売となった。
- ・藤枝高田は、A工区について令和2年12月に藤枝市への引き渡し完了した。残りのB工区については、造成工事を施工中であり、令和3年度中の引渡しを予定している。
- ・富士大淵は、令和2年10月に造成工事に着手、令和4年度の引渡しを予定している。

#### (2) 決算の概要

(単位:百万円)

		R2	R1	増減	備考
分譲等区画数		4	4	0	「富士山麓フロンティアパーク 小山」(2区画) 藤枝高田A工区(2区画)
収 益 的 収 支	総収益 A	1,111	1,997	△ 886	
	土地売却収益	1,089	1,974	△ 885	「富士山麓フロンティアパーク 小山」(2区画)
	その他	3	1	2	
	特別利益	19	22	△ 3	売却済用地補償引当金の戻入
	総費用 B	984	1,609	△ 625	
	土地売却原価	823	1,493	△ 670	「富士山麓フロンティアパーク 小山」(2区画)
	事務費等	139	116	23	控除対象外消費税の増等
	特別損失	22	-	皆増	袋井土橋の事業化不採択
損益 A-B		127	388	△ 261	
資 本 的 支	資本的収入	922	1,300	△ 378	藤枝高田500、富士大淵415ほか
	資本的支出	837	1,046	△ 209	
	うち開発整備費	837	1,025	△ 188	藤枝高田、富士大淵
	うち補助金	-	21	皆減	
収支差引		85	254	△ 169	
資 金	当年度	1,059	2,136	△ 1,077	
	累 積	8,087	7,028	1,059	

#### 【参考：開発整備費の状況】

(単位:百万円)

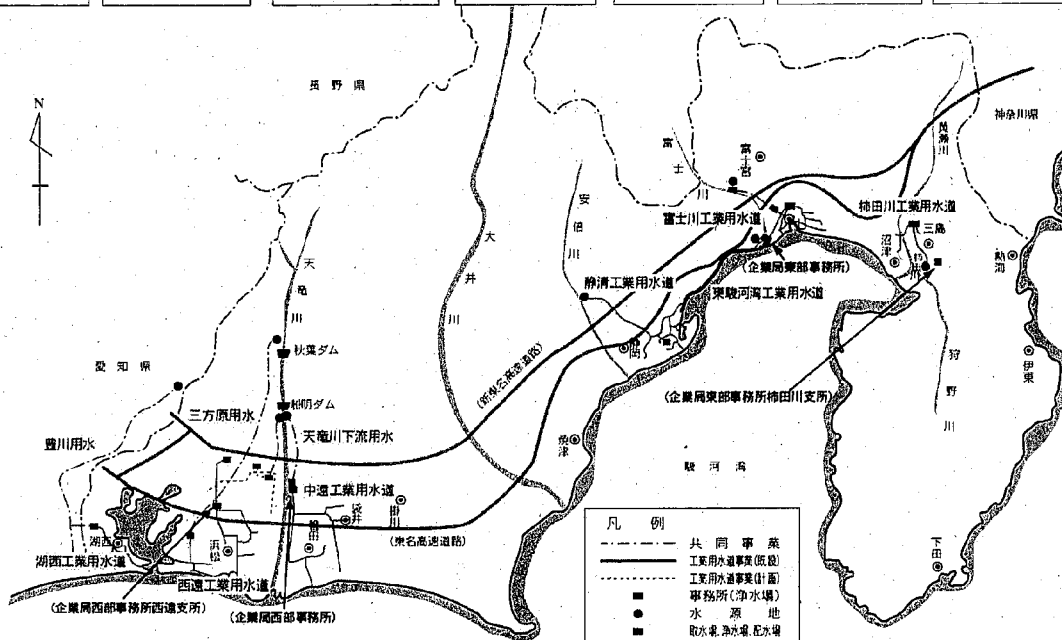
		事業期間	H29~R1	R2	計	備考
藤枝高田	H29~R3		1,996	644	2,640	セミ・オーダー、H30売買契約締結 R2A工区引渡し
富士大淵	R1~R4		684	193	877	セミ・オーダー、R2売買契約締結
計			2,680	837	3,517	

# 経営状況 (工業用水道事業全体)

(静岡県企業局経営課)

## 施設概要

湖西工業用水道	西道工業用水道	中道工業用水道	静岡工業用水道	駿駿河湾工業用水道	富士川工業用水道	柿田川工業用水道
計画給水量 (1日最大) 30,690 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	計画給水量 (1日最大) 241,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	計画給水量 (1日最大) 175,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (3市)	計画給水量 (1日最大) 90,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	計画給水量 (1日最大) 1,315,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (2市)	計画給水量 (1日最大) 214,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	計画給水量 (1日最大) 100,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (2市2町)
現在給水能力 30,690 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	現在給水能力 172,500 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	現在給水能力 60,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (2市)	現在給水能力 86,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	現在給水能力 783,100 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (2市)	現在給水能力 214,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (1市)	現在給水能力 100,000 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (2市2町)



【給水能力】 1,466,290 m <sup>3</sup> /日
【契約水量】 621,009 m <sup>3</sup> /日 (対能力 42%) R3.6.1 現在
【使用水量】 434,108 m <sup>3</sup> /日 (対契約 70%) R2 年度実績

## 1 損益

○工水会計全体の単年度損益は、黒字を維持しているが、ピーク時 (H5: 12.5 億) から大きく減少

